

防食マニユアル 改訂点など解説

シートライニング協
第14回技術講習会

防食シートライニング
工法協会(前田敏也会長)
は16日、都内で第14回技
術講習会を開催した。改
訂版「下水道コンクリー
ト構造物の腐食抑制技術
及び防食技術マニユアル」
への関心の高まりも
あり、自治体やコンサル
タント関係者など約80人
が聴講に訪れた。

冒頭、前田会長は「下



前田会長

水道施設の耐久性は防食
によって担保されてい
る。今年は全国各地で豪
雨や地震災害が発生した
が、防食機能低下で腐食
した構造物は災害時には
被災の恐れが懸念され
る。われわれのシートラ

イニング工法は耐久性に
優れており防災に役立つ
ものだと思っている。今

技術基準課の岩崎旬課長
代理が講演。

回の講習を通じて同工法
への理解を深めるとも
に、防災への意識を高め、
今後の維持管理業務につ
なげていただきたい」と
力強くあいさつした。

また、防食シートライ
ニング工法の紹介を同協
会技術部会長の根岸敦規
氏が講演、さらには「水
循環基本法による下水道
の役割」をテーマとして
水循環基本法フォローア
ップ委員会幹事長の山本
善久氏が講演を行い、参
加者は熱心に耳を傾けて
いた。

講習会は「同マニユアル
の主な改訂ポイントにつ
いて」のテーマで日本
下水道事業団技術戦略部